

水を大切に使うていくには

私は毎日何気なく使っている水の大切さを感じて考えるために、水のことについて調べました。そんな時に母から

「水のことなら、おばあちゃんに聞いてみたら。昔は大変だったらしいよ。」
と言われたので、祖母に昔のことを聞いてみることにしました。

祖母の話によると、祖母がこの家に嫁いできたときのこと、四十年くらい前のことだったそうです。祖母がこの家に来て一番困ったことは、水があまり使えないということでした。祖母の生まれは水が豊富なところで、川がすぐ近くにあたり、井戸からは自然の水があえずわきでていたそうです。また夏には川で泳いだり、畑でとれた野菜やお茶などは冷やしたり、庭には池もあってコイが泳いでいたそうです。前は自由に水を使えたぶん

山添村立山添中学校 二年

寺谷 菜月

不自由になったとき改めて水の大切さを感じたそうです。この地区では、近くに川はなく、大きな井戸からポンプで上げていて、地区の人と共同で使っていたそうです。だから水を使いすぎると、すぐに水がなくなってしまう。そこで、時間を決めて水を上げ、使いたくないようにしたり、せんとくにはお風呂の残り湯を使ったりしたそうです。もちろんシャワーも使えなくて、ひどいときにはお風呂を二、三日ぬかずに使ったこともあるそうです。新しくつくった井戸もあったそうですが、深くほったぶん、水を上げるのが大変で機械がこわれてしまいました。しかし、簡易水道ができたことにより、生活がとても快適になったそうです。

そして、水が使いやすくなり、生活が快適になった今も、祖母や母は水を使いすぎない

ようにしています。例えば、昔もやっていたお風呂の残り湯をせんとくに使ったり、食器を洗うときは、食器を全部洗ってから水を流して、なるべく水を使わないようにしています。その他にも、畑や花などの水は雨水をためて、そのためた水を使っているそうです。地球の半分以上は水でできています。しかしその中から私たちが使える水の量は限られています。そしてその水は未来へとつながっています。その水という貴重な資源を未来へとつなげていくために簡単にできることは水を使いすぎないことだと思います。なので祖母や母がしていることは、資源を守るといふこととですごく大事なことだなあと思いました。実際私は、お風呂にたくさん水を使ったり節水ということもあまり深くは考えていませんでした。また、もし私が祖母のように水が自由に使えないときに生まれていたら、ちゃんと生活できなくて、大変なことになると思います。そんな私でも、意識すればちゃんとできることもあります。それは、水を出しっぱなしにしないことや、なるべく水を使わずに済ませよう、意識するということだと思います。

も節水になります。私の家では、薪を使ったお風呂です。祖母と祖母が山から間伐した木や小枝、落ち葉などを乾燥させます。一年から二年くらい乾燥させたものを毎日少しずつ使っています。間伐すること太陽の光が木にそそぎ成長が早くなります。そして健全な木に育ち災害が起こりにくい山になります。そして土が豊かになり、雨もためやすくなり、私たちに豊かな水をはこんでくれます。そんな私が知らなかったころでも水を守ってくれている人がいたので、これからも自分ができることをさがし、水を大切に使うていきたいです。